

事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	シート区分	ページ
32122	博物館施設管理運営事業	教育委員会事務局	子規記念博物館	シートB	2
32122	博物館企画展示事業	教育委員会事務局	子規記念博物館	シートB	4
32122	博物館資料購入事業	教育委員会事務局	子規記念博物館	シートA	6
32122	博物館開館40周年等記念事業	教育委員会事務局	子規記念博物館	シートB	7

令和4年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	子規記念博物館	担当グループ名	博物館管理運営担当	連絡先	931-5566		
	部等長名	鷲谷 浩三	課等長名	門田 泰敏	リーダー名	副主幹	担当者名	主査	山口 雅士	
令和3年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	子規記念博物館	担当グループ名	博物館管理運営担当	連絡先	931-5566		
	部等長名	井出 修敏	課等長名	芳野 昌宏	リーダー名	副主幹	担当者名	主査	山口 雅士	

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	32122	博物館施設管理運営事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	3:指定管理
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する			重点プロジェクト	-	
施策	選ばれる都市づくり			主な取り組み	-	
主な取り組み	「こぼれ」文化の内外発信		市長公約	232	誰もが自分らしく、いきいきと暮らせる松山をつります	
取り組みの柱	子規記念博物館において、幅広い年代を対象とした講座や魅力あるイベントの開催などの多様なサービスを提供し、博物館の活性化を図ります。				スポーツコンベンションの誘致や地域でのスポーツ活動の活性化、俳句松山ならではの文化プログラムの実施など、市民の誰もが気軽にスポーツや文化芸術に親しめる機会を充実します。	
総合戦略	3222	基本目標	③魅力ある仕事と職場をつくる(地域経済活性化)	取組み	② 修学旅行の誘致や国内外の観光客増加に向け、松山城や坂の上の雲ミュージアム、子規記念博物館などの観光文化施設、俳句を中心とした短詩系文学やこぼれのちからなどの文化資源、正岡子規や秋山兄弟といった松山ゆかりの人物、三津浜焼きといったご当地グルメなどの地域資源など、あらゆるジャンルの観光資源の更なる有効活用を検討します。また、魅力ある誘客施設や地元が潤う仕組みの体験型観光メニュー、商品企画の研究を行います。	
		政策	②産業の競争力強化(業種別取組)			
		施策	②戦略的観光振興による域内経済活性化			
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	1:有り		重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し		

根拠法令,条例,個別計画等 松山市立子規記念博物館条例

事業の目的(どのような状態にするか)	松山市立子規記念博物館は、正岡子規の世界をととして、より多くの人々が松山に親しみ、松山の伝統や文学についての認識と理解を深め、新しい文化の創造に役立てることを目的として開設された文学系の博物館である。市民の知的レクリエーションや学校の課外学習の場に加えて、研究者の研究機関、観光客のビジターセンターとしての機能を備え、施設の適切な管理運営を行うことで、利用者に快適で安全に利用していただくとともに、より多くの人々に子規や文学の魅力に触れていただくことを事業の目的としている。						
背景(どのような経緯で開始したか)	人々がこころの豊かさや潤いのある生活を志向し個性を確立してきた中、松山市でも文化面の充実と整備を希望する市民の声が急速に高まり、新しい文化施設の要望が切実なものとなった。そこで、昭和51年7月に文化教育課を設置、庁内プロジェクトチームを編成し、約5年の歳月を経て、昭和56年4月2日、松山市特有の歴史風土に根ざし、近代文学史上に偉大な業績を残した正岡子規をテーマとする博物館「松山市立子規記念博物館」がオープンし、施設の適切な管理運営を行うため本事業を開始した。						
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	<ul style="list-style-type: none"> 松山市立子規記念博物館を効率的に管理運営するため指定管理者制度を導入しており、民間の持つ知識と経験を活用し引き続き適切な市民サービスを提供する。 子規顕彰全国俳句大会、子規顕彰全国短歌大会、子規顕彰松山市小中高校生俳句大会等の各種大会を開催する。 「はがき歌」全国コンテスト、へちまコンテスト、ふるさと松山「新春子規さん俳句かるた大会」等の各種イベントを開催する。 各種大会やイベントなどをととして、松山の伝統や文化の魅力を提供する。 株式会社レスバスコーポレーションへ指定管理料を支出。 						
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合、基準や金額等	「無し」の場合、その理由	常設展示入場料 一般:400円、団体:320円、65歳以上:200円、高校生以下:無料 特別展・特別企画展は別に定める		
始期・終期(年度)	昭和	56	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費	項	社会教育費	目	子規記念博物館費	R3 予算措置時期	当初
				R2年度			R3年度			R4年度
現計予算額(A)(単位:千円)				159,678			166,462			159,389
決算額(B)(単位:千円)				154,969			160,034			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳、 R4→予算内訳	国支出金			0			290			0
	県支出金			0			0			0
	市債			0			0			0
	その他			7,793			7,282			15,317
一般財源				147,176			152,462			144,072
主な経費(単位:千円) ※R3→決算R4→予算							指定管理料	130,673	指定管理料	131,886
							友の会委託料	10,401	友の会委託料	11,077
							「まつやま子規亭」開催負担金	2,057	「まつやま子規亭」開催負担金	5,800
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等										
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)			4,709			6,428

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> 施設の維持管理 子規顕彰全国俳句大会 子規顕彰全国短歌大会 子規顕彰松山市小中高校生俳句大会 「はがき歌」全国コンテスト SNS等を活用した情報発信 					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	新型コロナウイルス感染症の影響で臨時休館、イベントの中止や縮小開催を余儀なくされた時期もあったが、館内の様子や展示などを紹介する動画を動画共有サイト上にアップロードし、SNSでも写真や動画で館の情報を発信したほか、利用者の快適性・利便性のため適切な維持管理を行った。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由	正岡子規の顕彰、教育的普及活動及びそこから派生する俳句や短歌などの「こぼれ文化」の魅力を広く発信するための活動拠点として機能しているため。		
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響で来館する観光客が減少し、またイベントの中止や縮小開催等を余儀なくされている。 築40年を経過し施設・設備の老朽化が進んでいる。 			環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの感染対策を徹底・工夫しながら、SNS等を活用した効果的な情報発信、観光施設等との連携、市内小中学校や公民館と連携した更なる事業の展開などを行う。 快適に利用していただけるよう、必要に応じた修繕工事を行う。
R4年度の目標	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き施設を適切に維持管理するとともに、各種大会やイベントの開催を通じて正岡子規を顕彰する。 入館者数120,000人を目指す。 			R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		<ul style="list-style-type: none"> 施設の維持管理 子規顕彰全国俳句大会 子規顕彰全国短歌大会 子規顕彰松山市小中高校生俳句大会 ふるさと松山「新春子規さん俳句かるた大会」 「はがき歌」全国コンテスト SNS等を活用した情報発信

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	イベント・講座等の実施回数	回	目標値	—	26	26	26	26	目標値	26	
			実績値	—	25	16	16	達成年度	R5年度		
		%	達成度	—	96	62					
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)				最終目標値の設定の考え方	過去の実績や近年の動向から設定。				
	本指標の設定理由	入館者数の増に向けた取り組みを評価するにあたって、適した指標であるため。									
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
%		達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	入館者数	人	目標値	120,000	120,000	125,000	120,000	120,000	目標値	120,000	
			実績値	105,553	47,599	44,497			達成年度	R5年度	
		%	達成度	88	40	36					
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)				最終目標値の設定の考え方	過去の実績や近年の動向から設定。「第4次まつやま教育プラン21」の目標値。				
	本指標の設定理由	施設利用の状況を把握するために最も適した指標であるため。									
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
%		達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	新型コロナウイルス感染症の影響で観光客が減少する中、縮小開催とするなど、できる限りイベント等の実施に努めたが、一部のイベント等は中止を余儀なくされ、目標値の26回を達成することができなかった。									
	成果指標	SNS等を活用した情報発信を行い館の周知などに努めたが、新型コロナウイルス感染症の影響により入館者数が減少したため、目標値の125,000人を達成することができなかった。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	子規記念博物館	担当グループ名	博物館企画展示担当	連絡先	931-5566		
	部等長名	鷲谷 浩三	課等長名	門田 泰敏	リダー名	主査	平岡 瑛二	担当者名	主任	川島 佳弘
令和3年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	子規記念博物館	担当グループ名	博物館企画展示担当	連絡先	931-5566		
	部等長名	井出 修敏	課等長名	芳野 昌宏	リダー名	主査	平岡 瑛二	担当者名	主事	西松 陽介

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	32122	博物館企画展示事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営	
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	都市全体の価値や魅力を向上する			重点プロジェクト	-		
施策	選ばれた都市づくり			主な取り組み	-		
主な取り組み	「こぼれ」文化の内外発信		市長公約	232	誰もが自分らしく、いきいきと暮らせる松山をつります		
取り組みの柱	子規記念博物館において、幅広い年代を対象とした講座や魅力あるイベントの開催などの多様なサービスを提供し、博物館の活性化を図ります。				スポーツコンベンションの誘致や地域でのスポーツ活動の活性化、俳句松山ならではの文化プログラムの実施など、市民の誰もが気軽にスポーツや文化芸術に親しめる機会を充実します。		
総合戦略	基本目標	-					
	政策	-					
	施策	-					
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	1:有り	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	松山市立子規記念博物館条例						
事業の目的(どのような状態にするか)	正岡子規の一生を紹介する常設展の維持管理・展示替えや、特別展・特別企画展の企画と展示のほか、資料の調査・研究の成果を機関誌「子規博だより」に掲載し、正岡子規や松山の歴史・文化の魅力を発信する。また、資料レプリカの製作、資料修復の実施、備品購入や収蔵環境の整備等により収蔵資料の保全を図る。						
背景(どのような経緯で開始したか)	子規記念博物館は、子規資料を柱に、文学や郷土にかかわる資料を収集保管するとともに調査研究を行い、その成果を博物館活動として提供する施設として開館した。開館にともない、常設展の維持管理や特別展・特別企画展の開催、機関誌の発行、収蔵資料の保全・管理が必要とされたため、現在の本事業に相当する諸業務を開始した。						
対象・事業内容(誰に対して、何をとするのか)	<ul style="list-style-type: none"> 「人間正岡子規」をテーマとした常設展の維持管理、解説パネルの更新、及び展示替え(特集コーナー等) 子規や近代文学、松山の歴史文化に関連した特別企画展の開催(年1回)、及び関連するテーマでの記念講演の開催(特別企画展の会期中1回) 収蔵資料を活用した特別展の開催(年2回) 博物館の活動や研究成果等を発信する機関誌「子規博だより」の発行(年3回:6月・12月・3月) 資料の修復、資料や収蔵庫の燻蒸作業、燻蒸設備のメンテナンス 資料保存及び調査研究に必要な図書・資料等の購入・整備 						
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合、基準や金額等「無し」の場合、その理由	常設展入場料 一般:400円、団体:320円、65歳以上:200円、高校生以下:無料 特別展・特別企画展は別に定める			
始期・終期(年度)	昭和	56	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費	項	社会教育費	目	子規記念博物館費	R3 予算措置時期	当初	
				R2年度			R3年度			R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)				9,701			9,289			10,010	
決算額(B)(単位:千円)				6,146			6,016				
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳、 R4→予算内訳	国支出金		0		0		0		0		
	県支出金		0		0		0		0		
	市債		0		0		0		0		
	その他		0		0		0		0		
	一般財源		6,146		6,016		6,016		10,010		
主な経費(単位:千円) ※R3→決算R4→予算				第67回特別企画展展示資料輸送等業務委託料			733			第68回特別企画展展示資料輸送等業務委託料	2,300
				第67回特別企画展ディスプレイ制作等委託料			792			第68回特別企画展ディスプレイ制作等委託料	1,200
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等										デジタルアーカイブの運用と新規資料の追加公開については、令和4年度より博物館開館40周年等記念事業から子規記念博物館企画展示事業へ移行	
予算執行残額(単位:千円)	(A)-(B)			3,555			3,273				

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> 特別企画展の開催(年1回)、特別展の開催(年2回) 機関誌「子規博だより」の発行(年3回:6月・12月・3月) 常設展「特別展示」「特集コーナー」の展示替え(5回) 資料の修復、資料や収蔵庫の燻蒸作業、燻蒸設備のメンテナンス 購入・寄贈・寄託資料の受入、整理、及び維持管理 					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	令和2年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大等の影響により、特別展・特別企画展の入場者数や関連イベントの実施回数の目標値を達成できなかったが、臨時休館をはさみながらも特別展・特別企画展を予定通りの回数実施した。また、デジタルアーカイブを開設してインターネットを通じた子規の魅力発信に取り組みなど、新たな視点で業務に取り組むことができた。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由		常設展や特別展・特別企画展、機関誌の発行等により、松山市を代表する偉人の一人である正岡子規の調査研究と魅力の発信に繋がっているため。		
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害課題となっている事項	常設展の設備等を適切に維持管理するとともに、常設展が来館者にとってより楽しみやすい展示となるよう、定期的な展示替えやディスプレイ類の見直しが必要である。また、新型コロナウイルス感染症の影響等により入館者数が減少傾向にある中、特別展・特別企画展では「リピーター」の確保が課題となっている。			環境変化,障害課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		特別展・特別企画展に加えて常設展の定期的な展示替えに引き続き取り組むとともに、来館者に目新しく効果的な展示ができるよう、展示手法の研究・検討を行う。
R4年度の目標	子規と句会をテーマとする特別企画展を開催し、子規の文学活動に関する調査研究を深化させることで、子規の魅力を広く発信する。 ・特別展(年2回)、特別企画展(年1回)で合わせて8,000名の入場者数を目指す。			R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		<ul style="list-style-type: none"> 特別企画展の開催(年1回) 特別展の開催(年2回) 常設展「特別展示」「特集コーナー」の展示替え(年4回程度) 機関誌「子規博だより」の発行(年3回) デジタルアーカイブの運用と新規資料の追加公開

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	特別展・特別企画展の関連イベントの実施回数	回	目標値	11	11	11	11	11	目標値	11	
			実績値	11	4	4	4	4	達成年度	R5年度	
		%	達成度	100	36	36					
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)							最終目標値の設定の考え方		
	本指標の設定理由	入場者数の増に向けた取り組みを評価するにあたって最も適した指標であるため。							過去の実績や近年の動向から設定。		
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
		%	達成度								
	指標の種類								最終目標値の設定の考え方		
	本指標の設定理由										
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
%		達成度									
指標の種類								最終目標値の設定の考え方			
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	特別展・特別企画展の入場者数	人	目標値	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	目標値	8,000	
			実績値	8,371	3,584	2,642			達成年度	R5年度	
		%	達成度	105	45	33					
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)							最終目標値の設定の考え方		
	本指標の設定理由	入場者数の増減が成果を測るのに最も適した指標であるため。							過去の実績や近年の動向から設定。		
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
		%	達成度								
	指標の種類								最終目標値の設定の考え方		
	本指標の設定理由										
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
%		達成度									
指標の種類								最終目標値の設定の考え方			
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	令和3年度は、令和2年度に引き続いて新型コロナウイルス感染症拡大防止のため特別展・特別企画展の関連イベントで中止したものがあつたため、目標値の11回を達成することができなかった。									
	成果指標	令和3年度は、令和2年度に引き続いて新型コロナウイルス感染症の影響により入館者が減少し、目標値の8,000人を達成することができなかった。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容	一般から寄せられる子規や文学・歴史に関する問い合わせや、資料の寄贈申請等に適切に対応できている。また収蔵資料の確実な整理・保管や燻蒸作業を実施し、市民の財産である博物館資料の保全に努めている。										

令和4年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	子規記念博物館	担当グループ名	博物館企画展示担当	連絡先	931-5566		
	部等長名	鷲谷 浩三	課等長名	門田 泰敏	リーダー名	主査	平岡 瑛二	担当者名	主任	川島 佳弘
令和3年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	子規記念博物館	担当グループ名	博物館企画展示担当	連絡先	931-5566		
	部等長名	井出 修敏	課等長名	芳野 昌宏	リーダー名	主査	平岡 瑛二	担当者名	主事	西松 陽介

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	32122	博物館資料購入事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する			重点プロジェクト	-	
施策	選ばれる都市づくり			主な取り組み	-	
主な取り組み	「こぼれ」文化の内外発信		市長公約	-		
取り組みの柱	子規記念博物館において、幅広い年代を対象とした講座や魅力あるイベントの開催などの多様なサービスを提供し、博物館の活性化を図ります。			-		
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			

根拠法令,条例,個別計画等 松山市立子規記念博物館条例

事業の目的(どのような状態にするか)	子規記念博物館が掲げる「人間正岡子規」というテーマにふさわしく、広く市民の理解を得ることのできる資料等(正岡子規に関する資料、正岡子規に直接関係する者に関する資料、正岡子規を生み育てた文化的土壌に関する資料等)を購入し、資料の保全と次代への継承を図るとともに、常設展や特別展・特別企画展で公開し、子規記念博物館への集客を図る。					
背景(どのような経緯で開始したか)	子規記念博物館では、開館に先立つ昭和52年度から松山市教育文化施設資料購入基金を用いた資料の購入を行っている。博物館の責務である関連資料の収集のため、開館後も引き続き館の活動に必要な不可欠な資料を購入する本事業が実施されている。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	正岡子規に関する資料、正岡子規に直接関係する者に関する資料、正岡子規を生み育てた文化的土壌に関する資料等を対象として、松山市の文化行政を推進する上での必要性について詳細な調査を行い、子規記念博物館での今後の調査研究・展示活動に必要な不可欠な資料を松山市教育文化施設資料購入基金により購入する。基金による購入があった年度には、購入経費を一般会計から基金へ振り替える。					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由			
始期・終期(年度)	昭和	52	～	令和	4	終期の種別 2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費		社会教育費		目	子規記念博物館費	R3予算措置時期	3月補正
				項							
				R2年度		R3年度		R4年度			
現計予算額(A)(単位:千円)				4,000		15,000		0			
決算額(B)(単位:千円)				4,000		15,000		0			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0		0		0			
	県支出金			0		0		0			
	市債			0		0		0			
	その他			0		0		0			
	一般財源			4,000		15,000		0			
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算				子規の竹村鋲あて書簡(明治25年)8月2日ほか全5件10点		15,000		-			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等				3月補正							
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		0		0			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	子規の竹村鋲あて書簡〔明治25年〕8月2日ほか全5件10点の購入					
主な取り組み内容の達成度	↑	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	正岡子規の未発表書簡や晩年の随筆原稿をはじめとする、当館にとって重要な資料を購入することができたため。		
施策への貢献度(目的達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	松山市を代表する偉人の一人である正岡子規の顕彰と教育的普及活動に資するための博物館資料を購入することができたため。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		特に無し	
R4年度の目標	資料の購入にあたっては、「松山市教育文化施設資料購入基金」を活用するとともに、関係する要綱・要領の規定に基づき、購入しようとする資料の調査及び審査を適正に行う。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		資料購入を検討すべき条件があれば、関係する要綱・要領の規定に基づき、購入しようとする資料の調査及び審査を適正に行う。	

令和4年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	子規記念博物館	担当グループ名		連絡先	
	部等長名	鷲谷 浩三	課等長名	門田 泰敏	リーダー名		担当者名	
令和3年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	子規記念博物館	担当グループ名	博物館管理運営担当	連絡先	931-5566
	部等長名	井出 修敏	課等長名	芳野 昌宏	リーダー名	副主幹	担当者名	主査 山口 雅士 主査 平岡 瑛二

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	32122	博物館開館40周年等記念事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する			重点プロジェクト	-	
施策	選ばれる都市づくり			主な取り組み	-	
主な取り組み	「こぼれ」文化の内外発信		市長公約	232	誰もが自分らしく、いきいきと暮らせる松山をつくります	
取り組みの柱	子規記念博物館において、幅広い年代を対象とした講座や魅力あるイベントの開催などの多様なサービスを提供し、博物館の活性化を図ります。				スポーツコンベンションの誘致や地域でのスポーツ活動の活性化、俳都松山ならではの文化プログラムの実施など、市民の誰もが気軽にスポーツや文化芸術に親しめる機会を充実します。	
総合戦略	3222	基本目標	③魅力ある仕事と職場をつくる(地域経済活性化)		② 修学旅行の誘致や国内外の観光客増加に向け、松山城や坂の上の雲ミュージアム、子規記念博物館などの観光文化施設、俳句を中心とした短詩系文学やこぼれのちからなどの文化資源、正岡子規や秋山兄弟といった松山ゆかりの人物、三津浜焼きといったご当地グルメなどの地域資源など、あらゆるジャンルの観光資源の更なる有効活用を検討します。また、魅力ある誘客施設や地元が潤う仕組みの体験型観光メニュー、商品企画の研究を行います。	
		政策	②産業の競争力強化(業種別取組)			
		施策	②戦略的観光振興による域内経済活性化			
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	1:有り		重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し		

根拠法令,条例,個別計画等	松山市立子規記念博物館条例						
事業の目的(どのような状態にするか)	記念事業等の実施やデジタルアーカイブを開設することで、更なる研究活動の振興を図るとともに来館者の裾野を広げることを目的とする。						
背景(どのような経緯で開始したか)	令和3年度に子規記念博物館が開館してから40周年を迎えた。また、収蔵資料は適切な保存管理を行っているものの、資料保護の観点から、展示等による今後の更なる活用の拡大と永続的な保存との両立を図ることが課題となっている。こうした背景から、収蔵資料の適切な保存と活用、また、これまでの取組の再確認を目的に記念式典やデジタルアーカイブの開設などの事業を実施した。						
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	・開館40周年記念パネル展、記念式典や関連イベントを実施する。 ・収蔵資料の画像をインターネット上に公開するデジタルアーカイブを開設する。						
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない		「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由			
始期・終期(年度)	令和	3	～	令和	3	終期の種別	1:事業の終了時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費		社会教育費		目	子規記念博物館費	R3 予算措置時期	当初	
				項		目						
				R2年度		R3年度		R4年度				
現計予算額(A)(単位:千円)								4,580				
決算額(B)(単位:千円)								3,089				
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金							0				
	県支出金							0				
	市債							0				
	その他							0				
	一般財源							3,089				
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算								デジタルアーカイブ制作等業務委託料 851 記念式典オンライン開催に伴う業務委託料 477				
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等								デジタルアーカイブの運用と新規資料の追加公開については、令和4年度より博物館開館40周年等記念事業から子規記念博物館企画展示事業へ移管				
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		0		1,491				

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・子規記念博物館開館40周年記念パネル展「子規博40年のあゆみ」 ・子規記念博物館開館40周年・子規没後120年記念式典 ・デジタルアーカイブ開設					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	新型コロナウイルス感染症の影響により、記念式典が無観客開催となるも、オンラインでライブ配信することで多くの人に視聴していただいた。また、デジタルアーカイブでは当初の予定通り2点の資料を公開することができ、多くのアクセスがあった。		
施策への貢献度(目的達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由	正岡子規の顕彰、教育的普及活動及びそこから派生する俳句や短歌などの「こぼれ文化」の魅力を発信するための活動拠点として、その存在や取り組みを広くアピールできた。		
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策の必要に迫られたが、デジタルアーカイブの開設により子規記念博物館の新しい魅力を創出できた。		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組み改善策			
R4年度の目標			R4年度の主な取り組み内容(予定含む)			

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	デジタルアーカイブで公開する資料数	点	目標値			2	2	2	目標値	2	
			実績値						達成年度	R5年度	
		%	達成度			100					
	指標の種類	3.累計での増加を目指す指標							最終目標値の設定の考え方	当館の収蔵資料を後世に良好な状態で引き継ぎ、デジタルコンテンツの充実につなげるための設定。	
	本指標の設定理由	デジタルアーカイブの充実度を示す指標であるため。									
	活動指標 (3つまで設定可)			目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
			%	達成度							
	指標の種類								最終目標値の設定の考え方		
	本指標の設定理由										
活動指標 (3つまで設定可)			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
		%	達成度								
指標の種類								最終目標値の設定の考え方			
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	年間入館者数	人	目標値			125,000			目標値		
			実績値			44,497			達成年度		
		%	達成度			36					
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標							最終目標値の設定の考え方		
	本指標の設定理由	記念事業を展開することに伴う効果として、年間入館者数5,000人増を目指すため。									
	成果指標 (3つまで設定可)			目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
			%	達成度							
	指標の種類								最終目標値の設定の考え方		
	本指標の設定理由										
成果指標 (3つまで設定可)			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
		%	達成度								
指標の種類								最終目標値の設定の考え方			
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	当初の予定どおり、子規資料2点(画像数計608カット)のデジタルアーカイブ化を行うことができた。									
	成果指標	SNS等を活用した情報発信を行い記念事業の周知に努めたが、新型コロナウイルス感染症の影響により目標値の125,000人を達成することができなかった。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容	記念式典の動画配信を行い視聴回数は年間2,000回を超え、デジタルアーカイブのアクセス数は年間1,800アクセスを超える実績があった。										